



## はこだてトリエンナーレ

みなみ北海道を  
旅する芸術祭

2019

6.28 FRI ▶ 7.21 SUN

僕らはいつだって旅してる。  
風に吹かれ、大地に抱かれ、人に出会う。  
そして時には途中下車し、立ち止まり考える。  
旅とは思考の移動と、瞬間の連続。  
意識と感覚の次元をほんのすこし置き換える。  
汽車に揺られて、住む街を旅しよう。

<http://shinhakodate.com/2019>



Facebook



Twitter



LINE



Instagram



今回のほこトリは？

函館、北斗、木古内を巡る「いさりび鉄道」沿線が舞台！駅や車両の中などちょっとめずらしい場所も会場になっています。旅する気分でぜひ訪れてください。

## 【概要】はこだてトリエンナーレ みなみ北海道を旅する芸術祭

### はこだてトリエンナーレ みなみ北海道を旅する芸術祭 とは

住人と旅人が一緒に作り上げる、約3年に1度のアートの祭典。みなみ北海道を旅する芸術祭として、函館・道南圏の、文化や歴史、そして旅と繋がる要素をもった作品・作家・会場による展示にしたいと考えています。

### 企画の概要

開催期間： 2019年6月28日(金)から7月21日(日)まで 函館開港160周年の貿易記念日に開幕

(道南いさりび鉄道&北海道新幹線開業の、3年と3ヶ月と3日目から、3週間と3日間)

会場： 函館市内、北斗市内、木古内町内(はこだて観光圏内) 15箇所程度で開催

出展作家： 道内外から約30数名(道内作家を中心に) 入場料：入場無料(駅など公益性の高い場所を会場にするため)

小テーマ： 夏の色(緑) 道南の四季の色をテーマに今後4回シリーズで開催予定

主催： hakodate+・旅する芸術祭実行委員会 認定：公益社団法人企業メセナ協議会

助成： 公益財団法人朝日新聞文化財団・函館市 連携：アートギャラリー北海道

協力： 道南いさりび鉄道株式会社・横浜高速鉄道株式会社・

NPO法人ちいき未来・NPO法人おどろきネットワーク・北海道立函館美術館(予定) (ほか)

後援： 函館市・函館市教育委員会・北斗市・木古内町(ほか)

対象： 函館市民、沿線住民、北海道・青森県・本州から・インバウンド 全年齢層(こども向けのWSも開催)

### 会場

『旅として訪れてうれしい』そんな場所を探します

#### 海沿いを列車にゆられて

いさりび鉄道沿線のエリアを中心に

#### 函館の街のなかへ

函館市内各所や

#### 沿線の隠れ家

北斗市内・木古内町内でも展示をします。

駅舎・列車内など旅に関わる場所、町長室などちょっと珍しい

場所、カフェなど居心地のいい場所、展示がない日に旅として

再訪してもうれしいような場所を展示会場にします。

コンセプト「住む町を旅しよう」

### 出展作家

～みなみ北海道を旅する芸術祭～ の趣旨に沿った5つの視点の作家が出展します

#### 旅 滞在制作や旅がテーマの作家

#### みなみ北海道 道南拠点や道南に関わりをもつ作家

#### 緑 テーマや素材、手法などが道南ゆかり

#### ことはじめ 「作家として始まる」若手作家

新人作家と積極的に手を取る。将来「初めて展示をした函館」への思いを持ってもらえたら。

上の3つは「道南エリアの旅」に関するもの

「ことはじめ」は、開港としてさまざまな文化を創り出してきた歴史的な背景も踏まえて。

※具体的な会場名作家名は次頁以降に記します。一部調整中につき未記載のものがあります。

問合せ hakodate+ ギャラリー三日月(弥生町23-1)または 080-3318-5466 (キノ)

「はこだてトリエンナーレ」は、函館・みなみ北海道に、ゆかりのある人たちが作るトリエンナーレです。  
～みなみ北海道を旅する芸術祭～ をサブタイトルに、この地域で暮らすこと・旅することを見つめます。

## はこだてトリエンナーレの歴史

2009年「アートフェス・ハコトリ」

函館開港150周年を記念して開催。

2012年「第2回ハコダテトリエンナーレ」

「函館ならではの美術展を」と考え、古い趣のある建物を会場として使用。

2016年3月「はこだて十人十色トレインナーレ」

北海道新幹線と道南いさりび鉄道の開業日に合わせて開催。青函トンネルの工事着工以前から函館にあり、今なお人が集う場所を会場とした。「トリエン」ではなく「トレイン」ナーレ。

2017年3月「はこだて十人十色トレインナーレ+1」

北海道新幹線と道南いさりび鉄道の開業一周年によせて開催。

## 2019年の、はこだてトリエンナーレへの思い

はこだてトリエンナーレは、これまでのトリエンナーレとトレインナーレの両方を受け継いで開催、2019年は道南いさりび鉄道沿線の3つの市内・町内と、駅・車両内を会場にします。

北海道の旅は今、大きな岐路に立たされています。とりわけ鉄道の旅を考えると、ある一駅ではなく路線単位で廃止のおそれがある地域の多さに驚かれるかもしれません。「北海道新幹線が開通し、本州と北海道が新幹線で結ばれた」、そんな明るいニュースとともに、2015年、函館や周辺地域では、新幹線の平行在来路線が、第三セクター・道南いさりび鉄道となって新たな道を歩き始めました。

それから3年、列車は今日も、海沿いのとても美しい風景の中を走っています。



海沿いの線路をゆく(c)道南いさりび鉄道

わたしたちが2009年からずっと変わらずに持っているのは「まちと美術の二つの魅力を同時に」ご覧になっていただけたらという趣旨です。

2019年のトリエンナーレでは、沿線の作品を巡ることで、美術と触れながら「みなみ北海道」の風景や人と出会う。そんな旅になったらと願いを込めています。

道南鉄道新時代、これから2030年頃の札幌延伸で北海道新幹線が全線開通するまでの一時代。第三セクターとなった鉄道とともに歩む沿線のまちの文化は、未来の北海道全体の旅のかたちへと続いていくかもしれません。

## トリエンナーレのこれから ～沿線の色を抱いて～

新たに始まった、はこだてトリエンナーレ。

トリはイタリア語の3、トリエンナーレは【3年に1度】のアートの祭典を意味します。

ここから4回、季節ごとに変わるこの地域の風景の色を各回の小テーマとして、開催したいと考えています。それはちょうど、このまちを走る列車の車両の色です。



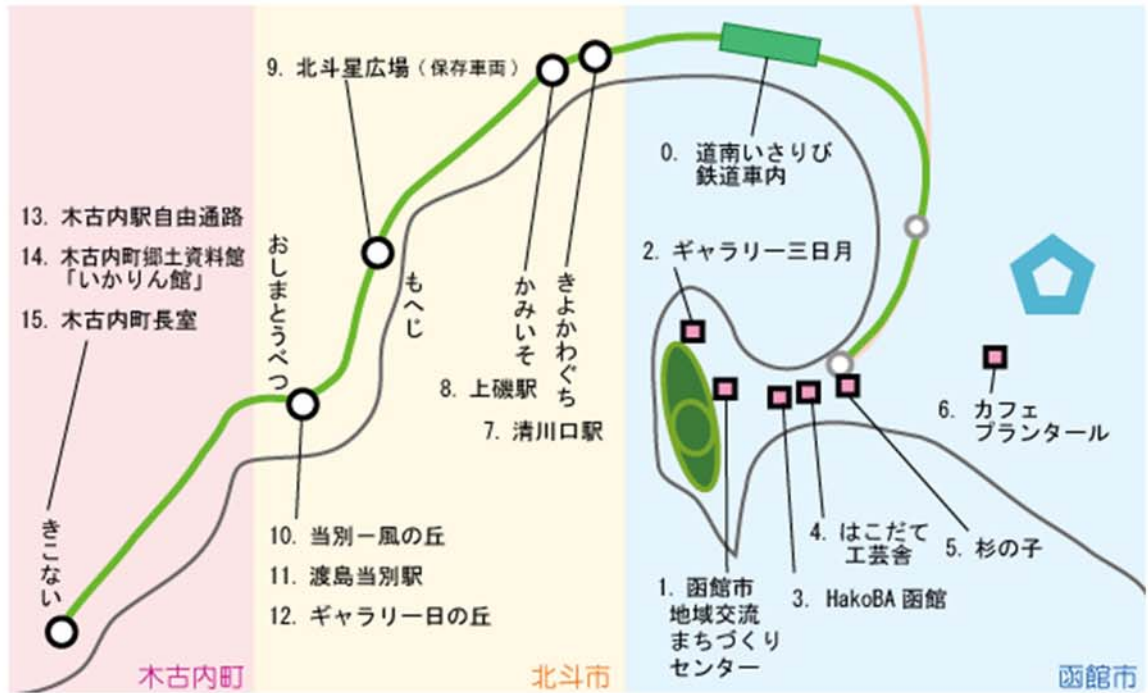
四季の色が彩られた車両 左から夏・秋・冬・春 (c)道南いさりび鉄道

めぐる季節、始まりは夏木立の緑・夏色の汽車に乗って・・・  
そして3年後2022年には豊穡の赤・秋色の汽車の中へ



# 【会場】はこだてトリエンナーレみなみ北海道を旅する芸術祭

## 会場一覧



## 会場詳細



**濃緑車両・キハ40 1810**  
道南いさりび鉄道・夏木立色の濃緑車両 (キハ40 1810) 内



**函館市地域交流まちづくりセンター**  
函館市地域交流まちづくりセンター 一般情報 住所 函館市末広町4番19号 電話 0138-22-9700



**ギャラリー三日月**  
ギャラリー三日月 一般情報 住所 函館市弥生町23-1 電話 0138-87-0787



**はこだて工芸舎**  
はこだて工芸舎 一般情報 住所 函館市末広町8-8 電話 0138-22-7706



**HakoBA 函館-THE SHARE HOTELS**  
一般情報 住所 北海道函館市末広町23-9 電話 0138 27 5858



**杉の子**  
杉の子 一般情報 住所 函館市松風町8-5 電話 0138-23-4577



**カフェ プランター**  
カフェプランター 一般情報 住所 函館市時任町28-8 電話 0138-86-5086



**上磯駅**  
道南いさりび鉄道 上磯(かみいそ)駅 一般情報 住所 北斗市飯生2丁目7番6号 電話 0138-83-1977



**清川口駅**  
道南いさりび鉄道 清川口(きよかわぐち)駅 一般情報 住所 北斗市中央1丁目 電話 0138-83-1977



**北斗星広場**  
北斗星広場 一般情報 住所 北海道北斗市茂辺地3-3-16 電話 0138-73-3111



**当別一風の丘**  
Cafe風の丘 一般情報 住所 北海道北斗市当別406-75 電話 090-3391-6284



**渡島当別駅**  
道南いさりび鉄道 渡島当別(おしまとうべつ)駅 一般情報 住所 北斗市当別4-2-18 電話 0138-83-1977 (道南いさりび鉄道)



**ギャラリー日の丘**  
ギャラリー日の丘 一般情報 住所 北斗市三ツ石347番地 電話 0138-75-3557 営業時間 10:00~17:00



**木古内駅**  
木古内駅・連絡通路 一般情報 住所 上磯郡木古内町字本町5 3 1 電話 01392-2-3131 (木古内町)



**木古内町郷土資料館「いかりん館」**  
木古内町郷土資料館「いかりん館」 一般情報 住所 北海道 上磯郡木古内町字鶴岡74-1 電話 01392-2-4366



**木古内町長室**  
木古内町長室 一般情報 住所 北海道 上磯郡木古内町本町218 木古内町役場2階 電話 01392-2-3131

参加作家の代表作品イメージ



石川潤



和泉志野



一戸元



ウリュウユウキ



衣斐 隆



大下 茜



大野 希



oto



神山貞次郎



紀あさ



工藤利恵



小宮伸二



ささきようすけ



さとうゆか



首藤晃



すずきさやか



玉山知子



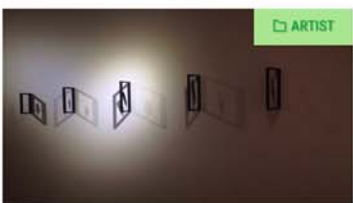
バーバラ村田



藤島 斉



藤原千也



丸岡明子



三上千年



南 控控



森洋子



森下大輔



安田祐子



山田せつ子



葉 駿融

作家の詳しい情報は… <http://shinhakodate.com/2019/artist/>  
でご覧いただくことができます

## はこだてトリエンナーレ みなみ北海道を旅する芸術祭

監修 大下 智一(北海道立近代美術館学芸課長・元道立函館美術館)  
 コーディネーター 吉岡希代美(ギャラリー三日月)・紀あさ(はこだて観光大使)

名前	在住	表現分野	作品展示様式	会場	横浜サテライト
<b>①旅 滞在制作や旅がテーマの作家</b>					
oto	徳島	平面	滞在制作 駅で展示 函館での体験を作品に込める	清川口駅	
丸岡明子	徳島	インスタレーション	滞在制作 駅で展示 函館での体験を作品に込める	上磯駅	
ウリュウユウキ	札幌	写真	函館市内に旅写真 鉄道写真家(車両写真を専門とする)	北斗星車両内 まちづくりセンター	○
衣斐 隆	神奈川	写真	函館市内に旅写真 鉄道写真家(車窓写真を専門とする)	北斗星車両内 まちづくりセンター	○
上原稔	札幌	写真	衣斐&ウリュウの展示にゲスト参加	北斗星車両内	○
<b>②みなみ北海道 みなみ北海道を拠点にする作家</b>					
石川潤	七飯町(道南)・札幌(2拠点)	平面作品による インスタレーション	鉄道車内を一両まるごと、絵で彩る	車両内 原画は町長室	○
大野希	函館	写真	函館市内に作品	まちづくりセンター	
岡本誠	函館	デザイン	函館市内に作品	大黒湯	
小宮伸二	函館	インスタレーション	立体オブジェ いさりび鉄道の名前の由来「いさりび」の電球を 素材に制作、プレ展で展示	道立函館美術館 (プレ)	
ささきようすけ	函館	絵画	駅に絵 作家自身の作品のほか、 地域の子どもの作品の展示受け入れ補助	清川口駅 渡島当別駅	
藤島斉	函館	エッセイ	函館市内に作品	杉の子	
安田祐子	函館	絵画	函館市内に作品	HakoBA	
工藤利恵	函館	白磁	函館市内に作品	ギャラリー三日月	
玉山知子	七飯町(道南)	羊毛フェルト	函館市内に作品	はこだて工芸舎	
Chitoshi Mikami	函館	インスタレーション (サウンドアート)	北斗市内に作品	風の丘	
森洋子	函館	音楽	演奏で他の作品とコラボレーション 期間前イベント、道立函館美術館、定員50 名。期間中7/7にシークレットライブ	道立函館美術館 (プレ) 木古内町内	
<b>③縁 テーマや素材、手法などが道南ゆかり</b>					
藤原千也	中札内村(道東)	彫刻	木古内町に巨大作品 素材は道南・江差の百年木	いかりん館	○
紀あさ	神奈川・函館(2拠点)	写真・演奏	写真の展示と、演奏 函館で制作した楽器(手回しオルガン)を使用	検討中	○
和泉志野	愛知・函館(函館出身)	立体	立体作品 地元大学の教授(岡本誠)とコラボレーション	工芸舎	
一戸元	青森	木彫	函館市内に立体作品	はこだて工芸舎	
首藤晃	福島	彫刻	北斗市内に彫刻作品	日の丘	
山田せつ子	東京	ダンス	函館市内で期間中にイベント 6月28日、定員30名、入場料2000円+1order	プランタール	
神山貞次郎	(故)	写真	函館市内に写真 山田せつ子等、舞踏家を写した写真展示	プランタール	
森下大輔	東京	写真	函館市内に写真 北海道写真発祥の地・函館での写真展示	ギャラリー三日月	
南 椋椋	東京・韓国	テラコッタによる小像・ ガラス絵	函館市内に展示	プランタール	○
バーバラ朋美	東京	マイム	函館市内で期間中にイベント 7月11日、定員50人、入場料2000円+1order	あうん堂	
<b>④ことはじめ 「作家として始まる」若手作家</b>					
さとうゆか	岩見沢市(道央)	アニメーション	函館市内	工芸舎	
大下 茜	札幌	絵画	函館市内に展示	HakoBA	
すずきさやか	東京	立体	函館市内に巨大作品	まちづくりセンター	○
遠山美月	東京	インスタレーション	上磯駅にインスタレーション	上磯駅	
葉 駿融	東京・台湾	写真	木古内駅に展示	木古内駅	○

ほか数名検討中の作家あり

※緑セルは道内、または道出身。  
青は東北。

※赤セルはイベント

# 【イベント予定①】はこだてトリエンナーレみなみ北海道を旅する芸術祭

## 事前のイベント・スケジュール

※緑文字の部分は首都圏（横浜）でのサテライト

キハ40 1810 × 流転堂



いさりび鉄道3周年

3月

26

火

### トリエンナーレ号、出発！

キハ40 1810 × 流転堂 @ 道南いさりび鉄道・濃緑（キハ40 1810）車両内

3月26 - 5月11 全日

道南いさりび鉄道は3月26日、開業3周年を迎えます。この日より、トリエンナーレの告知を開始。車両（キハ40形・9両）のうち、1両（緑色車両=キハ40 1810）内の全広告スペースすべてに、函館のデザイナー「流転堂」のデザインで、ポスターを展示。トリエンナーレ号として走り出します。

5月

11

土

キハ40 1810 × ヨコハマ @ 道南いさりび鉄道 キハ40 1810内

5月11 - 5月31 全日

### 首都圏サテライト展

はこだてトリエンナーレ ヨコハマに旅する芸術祭 @ みなとみらい線横浜駅地下2階南

5月18 - 5月26 全日

首都圏サテライトとして、横浜高速鉄道株式会社の協力を得て、横浜駅内に大規模に展示（9作家を予定）いさりび鉄道の緑色車両内は、横浜のみなとみらい線のポスターで飾ります。

5月

31

金

旅する芸術祭横浜拠点 オープンアトリエ @ BankART station

5月31 @ 11:00 - 6月9 @ 19:00

首都圏サテライト第2段。本展示を主催する「旅する芸術祭実行委員会」はみなとみらい線高島町駅内のBankART stationを首都圏事務局兼制作拠点としています。オープンアトリエに伴い、本展出展予定作家の小品を展示いたします（10作家ほどを予定）。

6月

1

土

キハ40 1810 × 流転堂2 @ 道南いさりび鉄道 キハ40 1810内

6月1 - 6月27 全日

函館近郊では、緑色車両内の全吊広告に「流転堂」によるポスターを展示。トリエンナーレ開始直前の気運を高めます。

アーティストトーク(旅する芸術祭について) @ BankART station

6月1 @ 18:30 - 20:00

横浜・函館の2拠点作家の紀あさ（写真家・手回しオルガン奏者・本展コーディネーター）が、はこだてトリエンナーレのみどころをトークします（複数組同時トークのうち、19:20~19:40を予定）。

6月

15

土

### 美術館プレ展示

ココカラハジマル by 小宮伸二 @ 北海道立函館美術館 ロビー

6月15 @ 09:30 - 6月21 @ 17:00

6月

21

金

トリエンナーレ・イベント

6月21 @ 18:00 - 20:00

北海道立函館美術館との共催により、はこだてトリエンナーレのプレ的な位置の展示を美術館で行います。函館の風物詩である「いさりび」は道南いさりび鉄道の名の由来ともなっていますが、本展ではいさりびの電球（イカの集魚灯）を素材にしたオブジェを小宮伸二が制作、展示します。

展示最終日の夜には、トリエンナーレのイベントを開催。音楽家の森洋子が、いさりびからインスピレーションを受けてチェンバロを演奏。

オブジェの中には、美術館から旅立ち、トリエンナーレの会場の目印として置かれるものもあります。



# 【イベント予定②】はこだてトリエンナーレ みなみ北海道を旅する芸術祭

## 期間中のイベント・スケジュール

### 開港160周年目の貿易記念日 & 北海道新幹線・道南いさりび鉄道3年3週間3日目

6月

28

金

START

キハ40 1810 × 石川潤 @ 道南いさりび鉄道 キハ40 1810内

6月 28 - 7月 21 全日

オープニング 山田せつ子ダンス @ カフェプラントール

6月 28 @ 19:00 - 20:30

トリエンナーレの会期がはじまると、緑車両には、広告スペース以外も含め、車両全体を美術作家・石川潤の作品で彩ります。

初日にはオープニングイベントとして、舞踏家・山田せつ子のダンス・イベントが開催。24日間にわたる「はこだてトリエンナーレ みなみ北海道を旅する芸術祭」いよいよ開幕です！



7月

6

土

藤原千也 x 森洋子 木と音、光と影のコラボレーション @ 木古内町

7月 6 @

樹齢200年の古木に光を当て、光と影の対比を魅せる藤原の作品のある空間で森洋子が演奏をします。選曲は、バロック初期の音楽。対比を重んじて作曲されていた時代の曲を奏でます。光と影の対比、木の作品とそれに寄せる音の作品の対比をお楽しみいただくことができます。

(企画サポート者へのお礼として、シークレットライブを予定)



7月

11

木

バーバラ村田公演 「かたわれ〜Doppelgänger」

7月 11 @ 19:00

指輪ホテルのような芸術作品から大道芸のような親しみやすい舞台まで、さまざまな場所で活躍するパントマイミスト、村田朋美(バーバラ村田)の函館初公演です。仮面である かたわれと自分が一人から二人に分離してその切ない模様を演じます。

(あうん堂 7月11日(木)19時 を予定)+



7月

13

土

はこトリ大道芸 @ 金森赤レンガ倉庫

7月 13 @ 13:00 - 16:00

7月

14

日

日光写真ワークショップ by 大久保明香 (函館出身 東北芸術工科大学在学)

7月 14

感光材を用いた日光写真の作成ワークショップです。ネガだけでなく、身近なものの影を焼き付ける体験をします。



※そのほか、教育施設等から希望がある場合、トリエンナーレ・ガイドツアーや、こども向けのワークショップ(3プラン=傘に絵を書く/お菓子の箱でプラネタリウム/映像制作体験)を、適宜、受け付けます。